

博物館学芸員課程

博物館とは、美術館、資料館、郷土館、動・植物園、民芸館、記念館などを含む社会教育施設を指し、生涯学習の観点から社会教育上、重要な役割を担うものです。

昭和26年12月に制定された「博物館法」によって、これらの博物館には「学芸員」やその他の職員を置くことが定められています。

学芸員は、博物館において、その管理運営・博物館資料の収集・保管・展示及び調査研究などの専門的事項を担当します。

本学部における博物館学芸員課程では、人文・自然科学系〔歴史学、民族（俗）学、美術史学、考古学、環境学、動植物学等〕博物館学芸員を養成し、別表の科目を履修することによって、高い学識と見識を持った学芸員を社会に送り出すことを目指しています。

就職については、学芸員の採用人数はきわめて少ない現状です。これらのことから、目的意識を明確にもち、積極的な学修意欲が強く求められることを十二分に認識の上、履修することが望まれます。

在学中に本課程を完修できなかった場合、卒業後に本学部での科目等履修生となり、未修得の科目を履修することも可能ですが、「博物館実習」は原則として履修できない（「博物館実習内規」を参照）ので、在学中に完修することが望まれます。

1 博物館学芸員課程の履修

博物館法施行規則に定められている科目と単位数は、本学部ではそれに応じて、別表のと通りの科目と単位数にしています。2012年度以降入学生（2012年度以降入学の編転入学生を含む）と2007年度～2011年度入学の学部在学学生では、修得すべき単位数が異なります。

本学部において、「博物館実習」を除く博物館学芸員課程必修科目の履修登録ができる人数は、各科目とも先着20名までとしますので、予備（事前）登録を実施します。

【2012年度以降入学生（2012年度以降入学の編転入学生を含む）】

必修9科目19単位を履修しなければなりません。選択科目群から2科目4単位以上の履修を推奨します。

【2007年度～2011年度入学の学部在学学生（情報メディア学科は2011年度入学生）】

必修8科目12単位および選択科目群から2科目4単位以上を履修しなければなりません。

※博物館学芸員資格を取得希望で単位を一部未修得で卒業した場合、科目等履修生として履修を続けることが可能ですが、その場合、2012年度以降の入学生のカリキュラムが適用されます。在学中に修得した単位のうち、2012年度以降入学生のカリキュラムへの読み替えが可能なもの以外に、追加で修得する単位が必ず発生します。そのためできるだけ在学中に完修することが望ましいです。詳細は74頁の読み替え表を参照してください。

2 「博物館実習」の履修

(1) 履修登録資格

次の項目をすべて満たしていること。

①「博物館実習」を履修するまでに下記の科目の単位を修得した者。

【2007年度～2011年度入学の学部在学学生（情報メディア学科は2011年度入学生）】

「博物館実習」以外の必修科目を完修していることが望ましいが、最低5科目以上の単位を修得していること（「博物館実習内規」を参照）。

【2012年度以降入学生（2012年度以降入学の編転入学生を含む）】

「博物館実習」以外の必修科目を完修していることが望ましいが、最低5科目以上の単位を修得していること。

- ②受講申込を行い、選考（小論文・面接など）に合格した者（科目の性格上、多人数の受講が不可能です）。
※選考は、受講希望に関する書類・成績（博物館学芸員課程関連既修得科目の成績および卒業要件既修得科目の成績）及び博物館学に関する面接試験などによって行う。
- ③科目の性格上、実習先へ所定の期間は、出勤可能な者。
- ④年度始めに実習費を納入すること。

(2) **対象年次**

3年次以上

(3) **実習定員**

本学部での定員は原則として、10名以内です。

(4) **実施方法**

- ① 実地研修を中心に「博物館実習」の事前・事後の指導講義も行います（学内実習）。
- ②学外の博物館などの学外実習先にて指導を受けます（館園実習）。
- ③通年開講科目です（当該年度に長期留学する者は受講できません）。
- ④実習の性格上、学外において実習を行うことがあるので、開講曜講時前後の時間帯におよんで実習講義を行うことがあります。

(5) **実習費**

「博物館実習」履修の本登録を許可された者（掲示にて確認）は、必ず所定の期間（4月上旬）に証明書自動発行機にて実習費として10,000円を納入した上、証明書自動発行機から出力される各種申込書「博物館実習費（理工学部）」を速やかに理工学部教務課に提出してください。

なお、この証明書自動発行機にて博物館実習費を指定する際は、文学部の博物館実習費と間違わないように注意してください。

これらの手続きを終了することによって、「博物館実習」科目を「授業科目受講届」用紙に記入（履修登録）することができます。

ただし、受講登録後の自己都合による受講取消の場合は、実習費を一切返金しません。

(6) **実習申込時期**

履修登録希望者は、博物館実習履修の前年度3月下旬の学業成績等の書類配布日に「博物館実習」受講申込書を受け取り、所定の期間に申し込むこと。

(7) **実地研修『博物館実習』（博物館等での学外実習）の心構え**

- ①学生の意識で実習を行うのではなく、一般社会人としての行動をとること。
- ②受入機関は勿論、入館者の方にも失礼のないように注意すること。
- ③時間厳守のこと。
- ④実習期間の服装は、入館者と直接接するるので、受入機関の指示に従うこと。
- ⑤各自、薄手の手袋を持参する方が望ましい。
- ⑥その他受入機関の指示に従うこと。

(8) **その他**

「博物館実習」の一端として宿泊を伴う博物館の見学などを行う場合もあります。博物館の見学などに必要な交通費・宿泊費・食事代等の実費（5万～10万円）は、自己負担しなければなりません。

3 本学部における博物館学芸員課程に関する科目

(1) 必修科目

【2012年度以降入学生（2012年度以降入学の編転入学生を含む）】

	省令科目	理工学部開講科目	単位数	配当年次	開講学舎	開講曜講時
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2	1	開講学舎、開講曜講時は各年度の時間割を確認すること	
	博物館概論	博物館概論	2	1		
	博物館経営論	博物館経営論	2	2		
	博物館資料論	博物館資料論	2	1		
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	2		
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	2		
	博物館展示論	博物館展示論	2	2		
	博物館教育論	博物館教育論	2	1		
	博物館実習	博物館実習	3	3		

※2011年度以前入学生が博物館学芸員課程の必修科目を履修する場合は、理工学部教務課に相談すること。

【参考】旧カリキュラムで修得した単位の2012年度以降入学生用科目への読み替え表

旧カリキュラム（2011年度以前入学生対象）

新カリキュラム（2012年度以降入学生対象）

	省令科目	理工学部開講科目	単位数	読み替え	省令科目	理工学部開講科目	単位数
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論	1	→	生涯学習概論	生涯学習概論	2
	博物館概論	博物館概論	2	→	博物館概論	博物館概論	2
	博物館経営論	博物館経営論	1	→	博物館経営論	博物館経営論	2
	博物館資料論	博物館資料論	2	→	博物館資料論	博物館資料論	2
	博物館情報論	博物館情報論	1	→	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2
	視聴覚教育メディア論	視聴覚教育メディア論	1	※1			
					博物館資料保存論	博物館資料保存論	2
					博物館展示論	博物館展示論	2
	教育学概論	教育学概論	1	不可	博物館教育論	博物館教育論	2
博物館実習	博物館実習	3	→	博物館実習	博物館実習	3	

※1 「博物館情報論」と「視聴覚教育メディア論」の両方を修得した場合のみ「博物館情報・メディア論」に読み替え可能。

★2012年度以降に旧カリキュラム（2011年度以前入学生対象）から新カリキュラム（2012年度以降入学生対象）への読み替えが必要な者

- 本学において旧カリキュラムで一部履修している科目等履修生
- 再入学者
- 3年次編転入者（本学出身者に限る）
- 大学院進学者（本学出身者に限る）

読み替え対象となるのは2011年度末までに修得した単位に限ります。

(2) 選択科目

	科目名	単位数	配当年次	
選択科目	自然科学史	情報環境論	2	2
		情報学概論	2	2
		科学思想史	2	2
		地球環境概論	2	1
		地域環境概論	2	1
	化学	化学概論Ⅰ	2	1
		化学概論Ⅱ	2	1
		生物学概論Ⅰ	2	1
	生物学	生物学概論Ⅱ	2	1
		生態学概論	2	1
		進化学	2	1
	地学	地学概論Ⅰ	2	1
		地学概論Ⅱ	2	1